

第三者評価結果

①第三者評価機関名

評価機関認証番号 石川県07-014
社会福祉法人 金沢市社会福祉協議会
(訪問調査日：平成24年11月21日(水))

②事業者情報

名称： 社会福祉法人旭仁福祉会 しらゆり保育園	種別： 保育園
代表者氏名：理事長 奥 清	定員(利用人数)： 90人
所在地：〒921-8054 石川県金沢市西金沢3丁目508番地	

③総評

◇特に評価の高い点

- 今年度の第三者評価受審も含め、平成21年度と22年度、計3回、外部機関による利用者アンケートを行い、その結果を保護者、職員に公表し、理事会でも報告しています。職員、保護者が情報を共有し、地域社会全体に開かれた保育園運営に努めています。
- 今後10年を見据え、①法人全体の職場環境の整備と人材の育成、②施設整備の推進と機能充実、③財務体制の充実、を柱とした中長期計画を策定しています。具体的課題や数値目標が示されており、今年度に施設の耐震補強及び増築工事を行うなど、着実に実施しています。
- 毎月1回、保育園を開放し、地域の未就園児とその親と交流しています。日曜日は、園庭を開放しています。また、焼き芋パーティーやもちつき大会などの園行事に近隣の高齢者を招待するなど、地域との交流に積極的に取り組んでいます。
- 毎月1回、小遠足の日とお弁当の日を設けています。晴れた日は、積極的に園外に出かけたり、園庭で遊ぶなど、自然との関わりを通じて、遊びを作り出す楽しさや物や自然、友達の大切さ、感謝する心を育てています。

◇改善を求められる点

- 保護者が意見等を言いやすい体制を整備するために、苦情解決の仕組みについて保護者に分かりやすく説明できる資料を作成することと、個別に相談できるスペースの確保が望まれます。
- 実習生の受入れを円滑に行うために、実習生の受け入れの意義・方針、説明・確認事項を明文化したマニュアルの整備が望まれます。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

利用者調査の結果は、これで三回目なので項目を比較することができ、保育サービスを点検・評価するうえでとても役に立ちました。保護者にも、これまでの推移を含めて公表しました。まだなだ課題が多くあることがわかり、一歩ずつ着実に取り組み、利用者や地域の皆さんに信頼される施設運営に心がけたいと思います。

<参考：利用者アンケート実施状況>

実施期間 平成24年10月22日（月）～11月9日（金）

送付数 83通

回答数 52通（回答率62.7%）

評価細目の第三者評価結果(しらゆり保育園:保育所共通評価基準)

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果	コメント
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		・ 事業計画、入園のしおりには「子育てニーズにきめ細かに対応し、園児と保護者に信頼される保育所運営を目指す」という理念を明文化している。
① 理念が明文化されている。	Ⓐ b・c	
② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ b・c	・ 理念に基づき「健康な子になろう」「友だちとよく遊べる子になろう」「自主的に活動できる子になろう」という3つの基本方針を明文化している。
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		・ 職員会議や園内研修で、理念や基本方針の確認を繰り返し行うとともに、職員への周知状況を確認している。
① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ b・c	
② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ b・c	・ 園のパンフレット、入園のしおり、園だよりを通じて利用者や地域住民に周知している。また、保護者会等を通じて周知状況を確認している。

I-2 計画の策定

	第三者評価結果	コメント
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ b・c	・ 中長期計画があり、現状を踏まえたうえで、職場環境の整備、人材の育成・確保、施設整備、財務体制の充実等の課題を挙げている。
② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ b・c	・ この中長期計画に基づき、各課題毎に事業計画を策定している。

評価細目の第三者評価結果(しらゆり保育園:保育所共通評価基準)

I-2 計画の策定

	第三者評価結果	コメント
I-2-(2) 計画が適切に策定されている。		
① 計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ b・c	・ 半期毎に進捗状況を職員全員で点検し、その結果を理事会に報告している。理事会での評価内容を職員会議に報告し、その評価に基づき見直しを行っている。
② 計画が職員や利用者に周知されている。	Ⓐ b・c	・ 入園のしおり、園のパンフレットに、年間事業計画を記載している。職員会議や保護者会などで周知している。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果	コメント
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ b・c	・ 職務分担表において、管理者としての園長の役割と責任を明らかにしており、園だより等により保護者に周知している。
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	Ⓐ b・c	・ 保育所長研修会、保育制度改革に関する研修会、労働法規に関する研修などに参加し、知識の習得に励んでいる。遵守すべき法令等に基づき必要な諸規則を整備し、それらを職員に伝えている。
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	Ⓐ b・c	・ 園長、主任保育士は、保育日誌、保健日誌、成長記録、給食日誌、週計画、月間指導計画、年間指導計画などの記録を定期的、継続的に評価、分析している。
② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組みに指導力を発揮している。	Ⓐ b・c	・ 職員の労働時間、園児数や年齢構成、経常収支を毎月確認している。それらを踏まえたうえで、年次休暇の計画的取得や夏季休暇の付与等、職員が働きやすい環境の整備に努めている。

評価細目の第三者評価結果(しらゆり保育園:保育所共通評価基準)

調査対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a・b・c	・ 研修への参加や保育関係図書の定期購読、金沢市からの統計データ取得等を通じて事業経営を取り巻く環境の把握に努めている。保育以外の福祉サービスや潜在的利用者に関するデータ等を収集することにより、よりの確な経営環境の把握を期待する。
② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a・b・c	・ これまでの在園児の推移、職員配置状況、経常収支状況等を踏まえ、施設整備や財務体制の充実等を中長期計画に反映している。
③ 外部監査が実施されている。	a・b・c	・ 公認会計士や税理士による外部審査は実施されていない。新会計基準への移行に合わせ、導入を検討している。 ・ 金沢市の指導監査結果は、職員会議で報告している。

Ⅱ-2 人材の確保・養成

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a・b・c	・ 人材の育成、確保については、中長期計画にまとめている。在園児数の変化を見極めながら、育児休業、介護休業等の取得促進と代替職員の確保、OJTの徹底による職員の資質向上に努めている。
② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a・b・c	・ 人事考課の基準は作成していないが、園長、主任保育士は人事考課の重要性は認識している。メリット、デメリットを整理した上で、導入に向けて検討している。

評価細目の第三者評価結果(しらゆり保育園:保育所共通評価基準)

Ⅱ-2 人材の確保・養成

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a・ b ・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年に一度、園長が職員と個別面談を行い就業状況や意向を把握するよう努めている。また、有給休暇、特別休暇の取得状況、超過勤務の状況、健康診断結果は、園長と主任保育士が書面で管理している。より専門的な相談や効率的な改善が出来るよう産業カウンセラーや社会保険労務士等との連携を期待する。
② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a ・b・c	
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 金沢勤労者福祉サービスセンターや社会福祉事業従事者互助会への加入、夏季休暇の付与、年次有給休暇の計画的取得など職場環境改善に積極的に取り組んでいる。
① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a ・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修計画の中に職員自らの人間性と専門性の向上を目指すことを方針として明記している。
② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a ・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 階層別の教育研修計画がある。専門性を高めるために、職員の経験年数に応じて計画的に受講している。
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a ・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修報告書を全職員に回覧するとともに、職員会議や個別面接で研修成果に関する評価を行っている。その評価を次年度の研修計画に反映させている。
Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習生を受け入れる意義や方針、事前説明の方法などをまとめた実習生受け入れマニュアル等の整備が望まれる。
① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a・ b ・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習生と事前打合せを行い、本人の希望や適性を見極め実習プログラムを作成している。実習終了後に、実習生と受け入れ担当者を交えて反省会を行い、実習プログラムの改善に努めている。
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a ・b・c	

評価細目の第三者評価結果(しらゆり保育園:保育所共通評価基準)

Ⅱ-3 安全管理

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		
<p>①</p> <p>緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。</p>	<p>a・b・c</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衛生管理、感染症、健康管理、安全管理、不審者対応などの対応マニュアルがあり、各保育室に備え付けてある。 ・ マニュアルの内容は、これまで園内外で収集した事例をもとに作成したものである。職員会議や園内研修でマニュアルの読み合わせ等を行い、職員に周知するとともに、必要に応じて見直している。 ・ 複数の損害賠償責任保険に加入している。
<p>②</p> <p>利用者の安全確保のためのリスクを把握し対策を実行している。</p>	<p>a・b・c</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各クラスごとに事故防止のためのチェックリスト、安全点検簿を活用し、ヒヤリハット事例を収集し、報告書を作成している。 ・ ヒヤリハット報告された事例は、職員会議で発生原因を分析し、防止策を検討している。また、必要に応じて、その結果を保護者へ連絡している。

評価細目の第三者評価結果(しらゆり保育園:保育所共通評価基準)

II-4 地域との交流と連携

		第三者評価結果	コメント
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			・ 事業計画の基本方針に、「地域住民関係団体と協力して、保育所を拠点にして地域福祉を推進する」「施設機能を地域社会に提供して開かれた保育所運営を目指す」と明記している。
①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a b・c	月1回保育園を解放し、地域の未就園児との交流している。また、焼き芋パーティーやもちつき大会などの園行事に地域の高齢者を招待している。
②	事業所が有する機能を地域に還元している。	a b c	・ 保育園の諸行事について、園の掲示板やホームページへの掲載などにより周知している。さらに地域住民とのつながりを深めるために、地元町会行事への参加や、保育等について地域住民に役立つ講演会を実施するなどの取り組みを期待する。
③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a b c	
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。			・ 不定期ではあるが、ボランティアを受け入れている。今後に向けて、ボランティア受け入れの意義や方針、事前説明事項などをまとめたマニュアルの整備が望まれる。
①	必要な社会資源を明確にしている。	a b・c	・ 児童相談所や警察、総合病院などの関係機関、団体の連絡先はリスト化され、事務室に掲示している。
②	関係機関等との連携が適切に行われている。	a b c	・ 年長児クラスは小学校の授業見学や運動会へ参加している。今後は、小学校だけでなく町会など地域の関係団体との連携を深めるための取り組みが望まれる。
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。			・ 金沢市などの関係機関が行う研修会、園開放による事業、保護者会への出席、利用者アンケート等を通じて地域ニーズの把握に努めている。今後は、地域の民生委員児童委員等と連携し、幅広い福祉ニーズの把握に努めることを期待する。
①	地域の福祉ニーズを把握している。	a b c	
②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a b・c	・ 利用者アンケート等により把握したニーズに基づき、延長保育、一時預かり、入園前子育て相談を実施している。

評価細目の第三者評価結果(しらゆり保育園:保育所共通評価基準)

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		・ 事業計画、入園のしおりに、重点目標の一つである「自主的に活動できる子になろう」を明記している。保育課程や年間指導計画にも自主性の尊重が明記されており、日々の保育に反映させている。
① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	Ⓐ・b・c	・ 利用者のプライバシー保護については、就業規則の遵守事項、個人情報保護規程に明記している。職員会議や職場内研修で、これらの読み合わせを行い、理解を深めている。
② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・b・c	
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		・ 保育について園と保護者が同じ認識を持ち、また、保護者の要望を把握するため、保育参観、保護者懇談会、保護者個別懇談会を、それぞれ年2回実施している。
① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	Ⓐ・b・c	・ 平成21年度、22年度と2年続けて外部機関による利用者アンケートを実施し、利用者満足度の向上に努めている。あいさつや言葉遣い、報告の仕方などを改善している。
② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	Ⓐ・b・c	
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		・ 園だよりや入園のしおりに、保護者からの相談を随時受け付けている旨を記載している。日頃から、利用者が意見を述べやすくするために、全職員があいさつや言葉遣い、報告の仕方などを改善した。個別に相談できるスペースが無いので、今後確保することが望まれる。
① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a・Ⓑ・c	・ 主任保育士が苦情受付担当者、園長が苦情解決責任者、監事2名を第三者委員としている。苦情受付等保護者の意見は記録し、保護者へは報告されている。
② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a・Ⓑ・c	
③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a・Ⓑ・c	

評価細目の第三者評価結果(しらゆり保育園:保育所共通評価基準)

Ⅲ-2 サービスの質の確保

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・b・c	・ 保育の質の向上や業務の改善を図るため、個別面談や職員会議などを通じて、現場の職員の意見や提案を聞いている。
② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	Ⓐ・b・c	・ 職員から徴収した意見、提案、過去に2年続けた利用者アンケートで寄せられた保護者からの意見を改善報告書としてまとめ、職員、保護者に報告した。中長期計画の見直しと合わせて、半期に一度改善状況を点検している。
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	Ⓐ・b・c	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		
① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・b・c	・ 個々のサービスについての標準的な実施方法については、文書化された手順書がある。それに基づき日常業務の中でOJTにより職員に周知している。
② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・b・c	・ 2、3月に、翌年度に向けて標準的な実施方法を見直している。見直す際には、個別面談やクラス懇談の時に聞いた職員や保護者からの意見、利用者アンケートの意見などを参考にしている。
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ・b・c	・ 一人ひとりの園児の記録は、児童票、発育状況記録、保育日誌、歯口控検査診断表等に記録している。職員間で記録にばらつきが生じないよう園長と主任保育士が点検し、事務処理規程により管理している。
② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・b・c	・ 個人情報保護規程があり、守秘義務や記録の管理体制、情報開示を求められた場合の対応などを定めている。
③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ・b・c	・ 利用者の状況等に関する情報を効率よく記録し、職員間で共通認識できるよう保育支援システム(データベース)を導入した。

評価細目の第三者評価結果(しらゆり保育園:保育所共通評価基準)

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ、園のパンフレットには年間の主な行事内容とその様子が分かる写真が掲載されている。入園のしおりには、入園後、進級後に必要なものを、年齢毎に記載してある。
① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a・ b ・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の理念や保育サービスに関する資料を、多数の人が手にすることができる場所に置くことが望まれる。
② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a・ b ・c	
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス利用開始時には「入園のころえ」を配布し説明、同意を得ている。入園のころえには、年齢ごとに準備するもの、登降園時の注意事項などが記載してある。
① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・ b ・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 転園の際は、必要に応じて、発達状況記録等を保護者の同意を得て、転園する保育園に提出している。また、卒園後も保護者からの相談に応じることを卒園式の際説明している。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 園児の身体状況、生活状況、特徴などは児童発達状況表、生活状況調査記録等により継続的に把握している。
① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a・ b ・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの成長に伴い、発達課題を整理し指導計画にあげている。課題の達成状況は、クラス担任、主任保育士が把握している。
② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a・ b ・c	
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス実施計画は、蓄積されたデータを基に担当職員が案を作成し、全職員でこれを協議し、主任保育士、園長の承認を得て決定している。
① サービス実施計画を適切に策定している。	a・ b ・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月の職員会議で指導計画を評価している。また、発達状況や保護者からの意見など状況に応じて指導計画を見直している。
② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a・ b ・c	

評価細目の第三者評価結果(旭町保育園:保育所版内容評価基準)

A-1 子どもの発達援助

A-1-(1) 発達援助の基本

	第三者評価結果	コメント
① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	○a・b・c	・ 保育計画は、園の基本理念、基本方針を基に、保護者アンケートで寄せられた意見等を考慮して作成している。
② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	○a・b・c	・ 指導計画は、月毎に環境構成、保育内容、援助、子どもの発達課題などの評価を行い、それを踏まえて翌月の計画を作成している。 ・ 月毎の評価は、担任の自己評価の後、主任保育士及び園長が確認している。

A-1-(2) 健康管理・食事

	第三者評価結果	コメント
① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	○a・b・c	・ 健康管理マニュアルがあり、各保育室に備え付けてある。看護師を1名配置し、嘱託医との連携のもと、発熱時の保育やケガの対応、投薬シートの管理等を行っている。
② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	○a・b・c	・ 毎年、内科検診を2回、歯科検診を2回実施している。検診結果は、児童票と保育経過記録に記録し、書面で保護者に連絡している。嘱託医と協議し、診断結果に応じて医療機関の受診を勧めている。
③ 歯科診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	○a・b・c	・ 内科検診終了後、嘱託医、園長、主任保育士、クラス担任で話し合い、発達に関して問題があると思われる場合は、保護者の了解を得たうえで教育プラザ富樫等の専門機関につなげている。

評価細目の第三者評価結果(旭町保育園:保育所版内容評価基準)

A-1-(2) 健康管理・食事

	第三者評価結果	コメント
④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	Ⓐ b・c	・ 感染症に関するマニュアルがあり、各クラスに備え付けてある。空気清浄機を全保育室に設置している。園内は、塩素系消毒液で消毒し、対応している。また、個人が特定されないよう配慮したうえで、発生状況と対処方法を玄関前の掲示と書面により保護者及び職員に知らせている。
⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている。	Ⓐ b・c	・ 毎月1回は小遠足をして弁当を食べている。園庭で育てた野菜を子ども達と調理する、季節や催事に合わせ旬の食材を取り入れた行事食を提供するなど食事を楽しむ工夫をしている。
⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	Ⓐ b・c	・ 調理員が週2回以上、昼食時に各クラスの様子を見て喫食状況を確認している。また、年2回(4月、10月)の身体測定結果をもとに、栄養接基準を参考に、発育状況に応じた献立を作成している。
⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	Ⓐ b・c	・ 給食だよりに人気のある献立のレシピを掲載したり、親子クッキングや保育参観後に試食会を開き、保護者の意見との情報交換をしている。
⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	Ⓐ b・c	・ アレルギー疾患を持つ園児の保護者からは、必ず医師の診断書を提出してもらい、それに基づき除去食の調理や服薬管理を行っている。診断書は1年ごとに提出してもらい経過を確認している。

A-1-(3) 保育環境

	第三者評価結果	コメント
① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	Ⓐ b・c	・ 安全点検簿と衛生管理マニュアルにより、空調や寝具や玩具、遊具の消毒等を行っている。気づいた点があれば速やかに対処し、良好な状態にしている。
② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	Ⓐ b・c	・ 子どもが不安になった時や体調が優れない時などは、事務室の横の静養室で休むことができる。また、園の方針で、天気の良い日は園庭で遊ぶ時間を多く取っている。

評価細目の第三者評価結果(旭町保育園:保育所版内容評価基準)

A-1-(4) 保育内容

	第三者評価結果	コメント
① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	○a・b・c	・ 子どもの年齢や家庭環境を踏まえ、わかりやすい言葉で話すよう努めている。危険防止の時以外は禁止や制止する言葉は使用しない。やむを得ず使う場合は、その理由を説明している。
② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	○a・b・c	・ 衣類の着脱、排泄、午睡などの時間を決めているが、園児の自発的な気持と達成感を第一に考え、時間に余裕を持たせ柔軟に対応している。
③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	○a・b・c	・ 自分で選んで遊べるように、子どもの発達段階に応じた遊びや玩具を用意している。子どもが自発性を発揮できるよう自分たちで遊びや遊具を決める話し合いの場を意図的に設けている。
④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	○a・b・c	・ 天気の良い日は、近隣の公園などに出かけ、地域の人たちと挨拶を交わしたり、草花や昆虫を採取し保育園で制作や飼育活動につなげている。また、県立児童館でのプラネタリウム鑑賞、派出所見学や老人保健施設への慰問などの社会見学の機会を設けている。
⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるよう配慮されている。	○a・b・c	・ 年齢に応じて、粘土やクレヨン、色鉛筆などを個人毎に用意し、自由に使うことができるようにしている。リトミックなどの体を使った表現遊びや絵本や紙芝居の読み聞かせなどを行っている。
⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	○a・b・c	・ 遊びや当番活動の内容決めの際、自分の考えを伝え相手の考えも聞くこと、相手の立場に立って考えること、ルールを守ることなどの大切さを伝えている。
⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	○a・b・c	・ 大人の固定観念を押し付けないよう子どもの感じた印象や気持ちを聞くことを大切にしている。子どもたちがお互いの良い所に気づくような働きかけをしている。

評価細目の第三者評価結果(旭町保育園:保育所版内容評価基準)

A-1-(4) 保育内容

	第三者評価結果	コメント
⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	○ a · b · c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 服の色や遊びの中での役割などは性差に関係なく子どもの好みや希望を尊重している。 ・ 家庭での授乳状況や睡眠のリズム、コミュニケーションのとり方などを保護者から確認し、それに沿った形で乳児保育を行っている。一人ひとりが安心して過ごせるようクラス内での情報共有がされている。また、午睡の時は、布団の堅さや形状に注意し、10分から15分おきに睡眠状況を確認し記録している。
⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	○ a · b · c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 延長保育を実施している。午後6時15分に、夕食に支障が出ないよう配慮したうえで、軽食を提供している。子どもの健康状態、保護者への連絡事項等は終礼と書面で遅番の保育士に引き継いでいる。
⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	○ a · b · c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園内は、階段以外は段差がなく、階段には手摺がついている。教育プラザ富樫や保健所などの関係機関と連携し、療育方針や普段の生活で配慮することを保護者と共有し、個別に指導計画を作成している。保育士は、子どもたち同士で助け合い過ごせるよう分かりやすく障害を説明している。
⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	○ a · b · c	

評価細目の第三者評価結果(旭町保育園:保育所版内容評価基準)

A-2 子育て支援

A-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援

	第三者評価結果	コメント
① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え個別面談などを行っている。	○ a・b・c	・ 保護者とは日常的に、口頭や連絡帳で情報交換しており、その内容を保育日誌や個人経過記録に記録している。
② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	○ a・b・c	・ 保育参観後に、クラス懇談と個別懇談の機会を設けている。また、必要に応じて、保護者からの相談に応じている。
③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	○ a・b・c	・ 個別面談の内容は、保育日誌と個人経過記録に記録し、職員間で情報共有している。
④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	○ a・b・c	・ 保育参観、保育参加、クラスだよりなどを通じて、子どもの発達について保護者と共通理解できるように努めている。
⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	○ a・b・c	・ 安全管理マニュアルの中に、児童虐待対応マニュアルがあり、各保育室に備え付けてある。虐待を見極めるポイントや、虐待を発見した場合の通告先やその手順を定めている。

A-2-(2) 一時保育

	第三者評価結果	コメント
① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	○ a・b・c	・ 主任保育士が窓口となり、預け入れる子どもの年齢に応じて、各クラス担任が担当となり、一時預かり保育を実施している。一時預かり保育のための保育室はないが、その日の状況に応じて、空いているクラスや休憩室などを利用している。一時預かり児の様子を見ながら、無理のない範囲でクラス活動に参加している。
		・ 在園児と同様に、保育時の情報を記録し、保護者にも伝えている。

評価細目の第三者評価結果(旭町保育園:保育所版内容評価基準)

A-2-(3) 地域における子育て支援

	第三者評価結果	コメント
① 地域の保護者等に対する子育て支援を行っている。	○ a) b・c	・ 毎月2回、保育園を開放し、地域の未就園児とその保護者を対象とした「子育てルームすくすくクラブ」を開き、親子遊びや運動遊び、編行事への参加などを通じて、子育て支援を行っている。

A-3 安全・事故防止

A-3-(1) 安全・事故防止

	第三者評価結果	コメント
① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	○ a) b・c	・ 衛生管理マニュアルがあり、それに基づき全職員が分担して毎月点検し、問題があれば、速やかに、主任保育士、園長に報告している。危険箇所等があれば、速やかに改善策を検討し、その結果を職員会議で報告している。
② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対処方法については、全職員にも周知されている。	○ a) b・c	・ クラスごとに安全点検簿と危険箇所等を視覚化したひやりハットアップがあり、それに基づき、毎月点検している。事例は記録、集約し、職員会議で未然防止策の検討やその効果を検証している。
③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	○ a) b・c	・ 安全管理マニュアル、不審者侵入対応マニュアルがあり、月に1回、火災、地震、水害などを想定した避難訓練を行っている。
④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	○ a) b・c	・ 園庭の非常持ち出し車に、食糧、飲料水医薬品、防災頭巾等を保管している。避難訓練時に定期的に消費期限等を確認している。
⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	○ a) b・c	・ 不審者侵入対応マニュアルがあり、年度当初の職員会議で見直している。